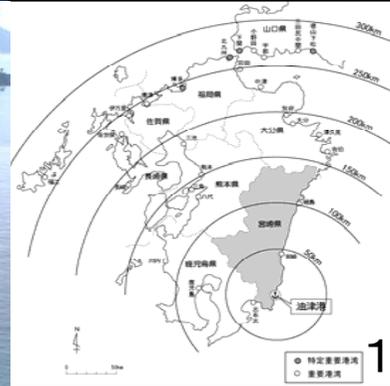


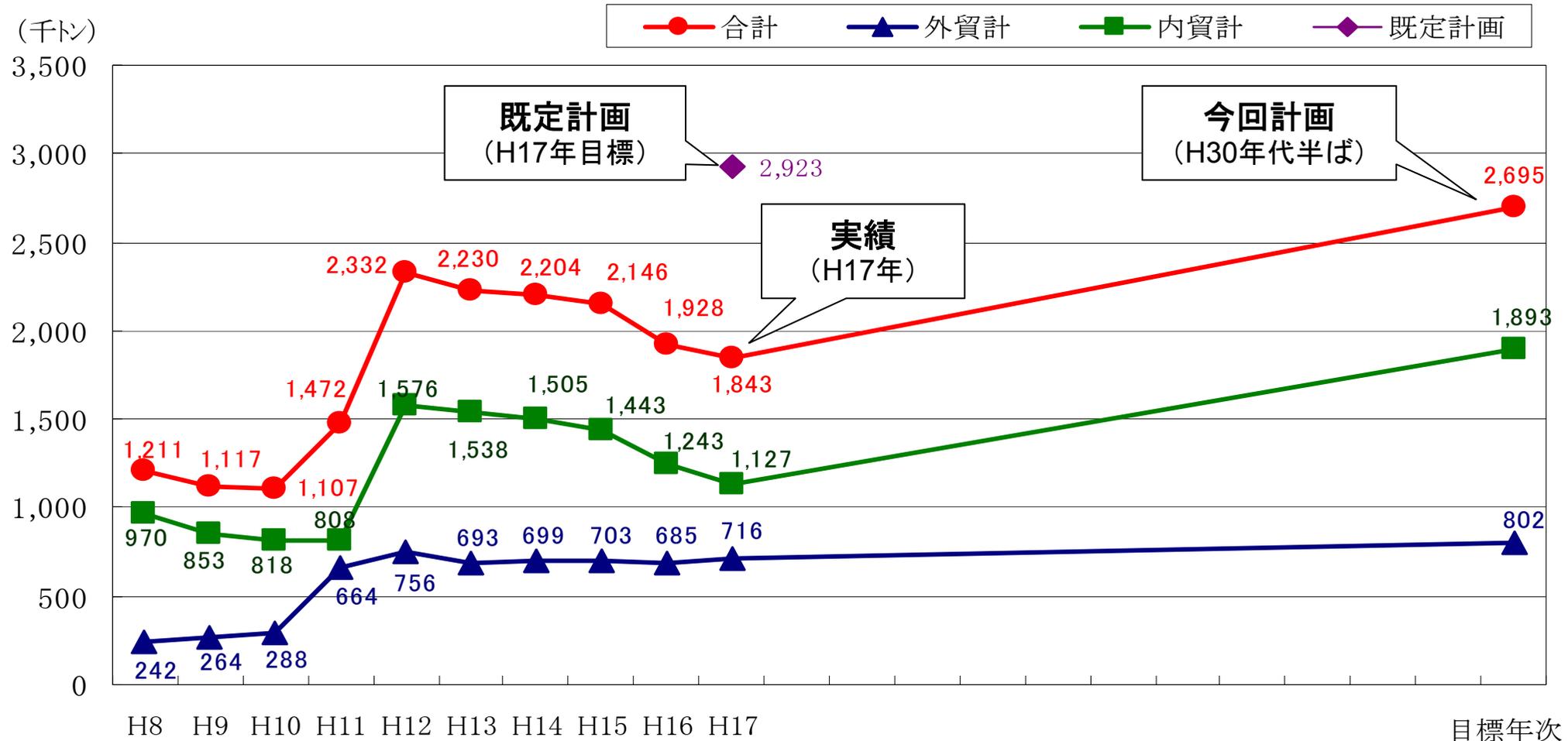
油津港港灣計画一改訂一

平成19年11月29日
交通政策審議会
第27回港湾分科会

資料3-2



油津港の取扱貨物量の推移と目標値

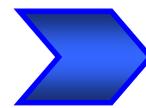


【東地区の変更の概要】



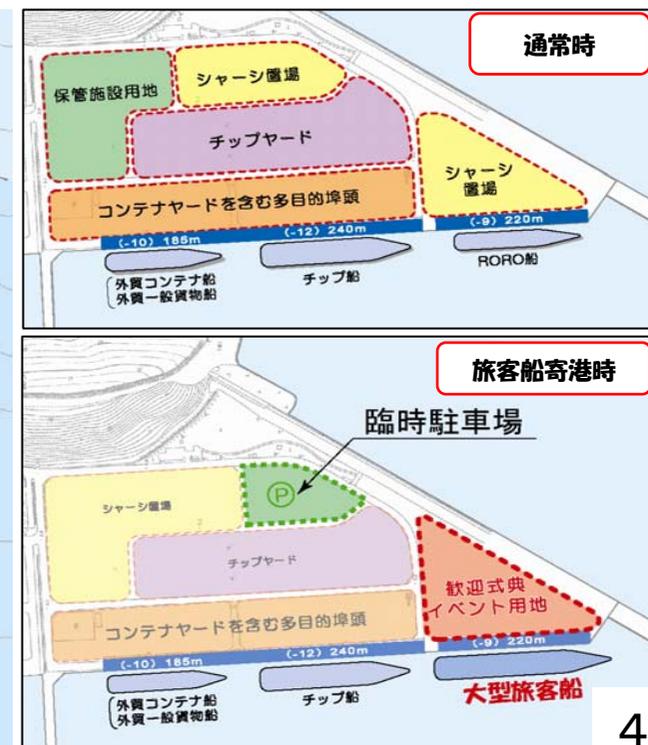
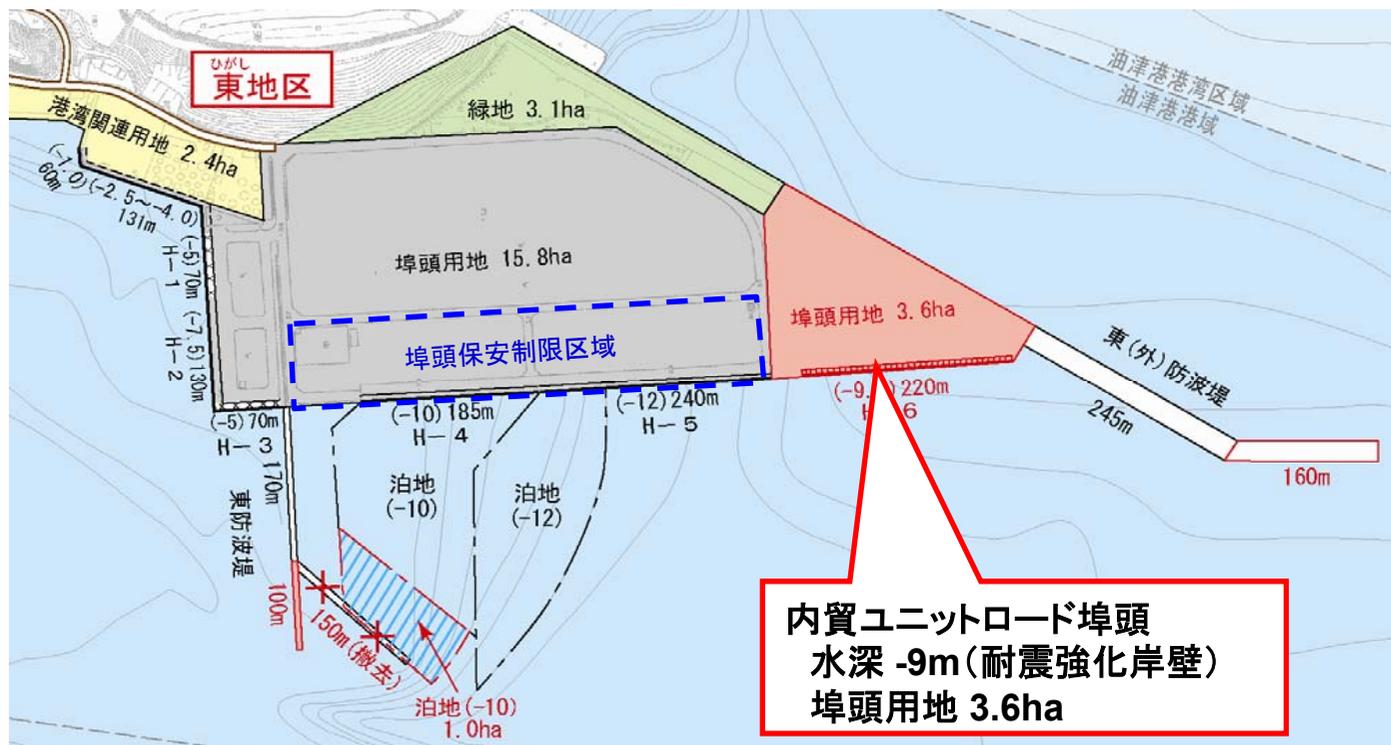
【課題・背景】

- ・ 内貿ユニットロード貨物の増大
- ・ 埠頭保安制限区域内での外貿貨物と内貿貨物の混在
- ・ 大規模地震対策の充実
- ・ 大型旅客船寄港時の対応

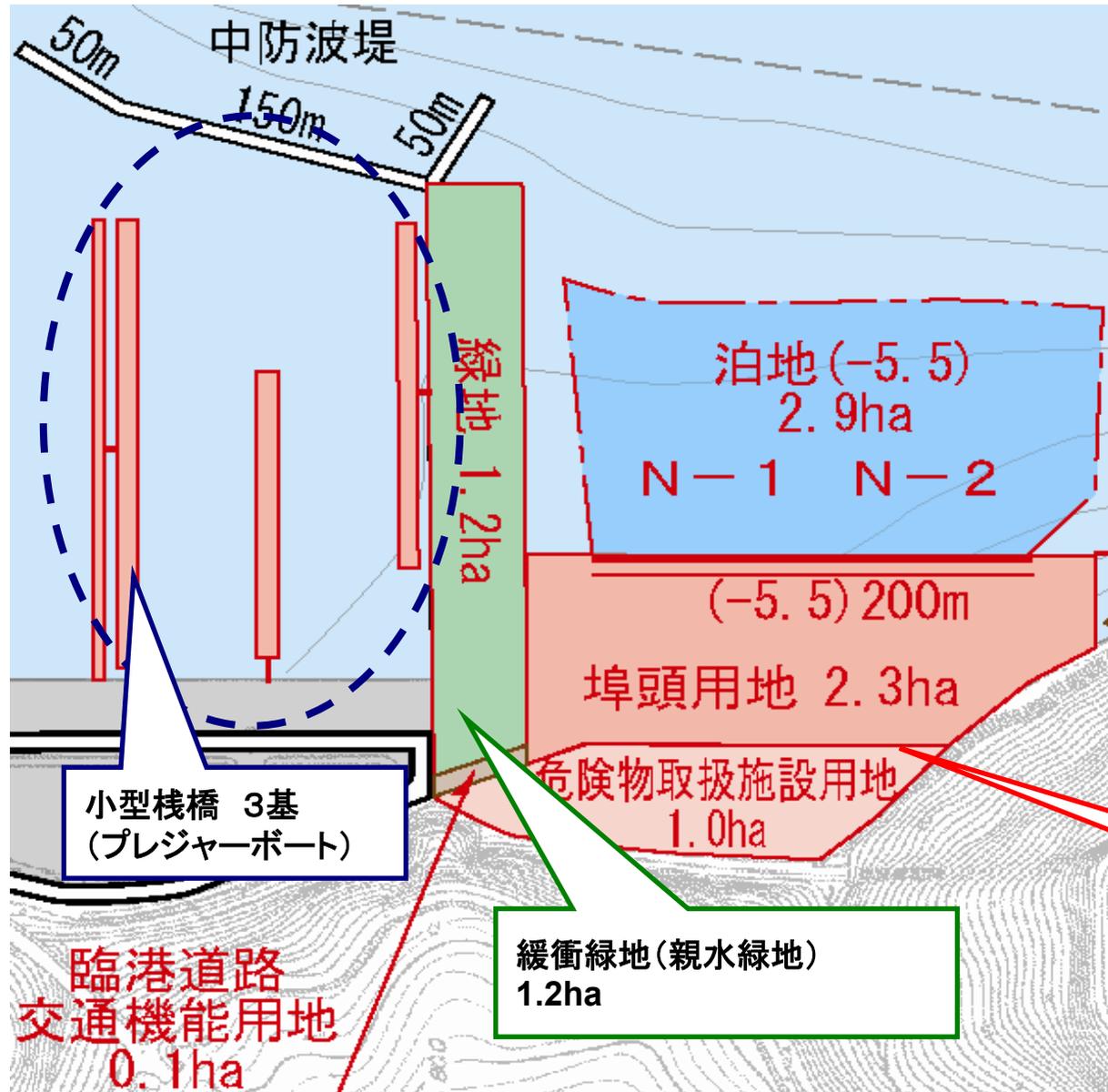


【対応】

- ・ 内貿ユニットロード埠頭の整備
- ・ 新規岸壁を耐震強化岸壁として整備し、背後の埠頭用地・緑地と一体となった防災拠点を形成
- ・ 大型旅客船寄港時における歓迎式典やイベント用地、臨時駐車場等の確保



【西地区の変更の概要】



【課題・背景】

- ・ 民家と隣接した大節地区において、バルク貨物(危険物を含む)を取り扱っている。
- ・ プレジャーボート等の放置係留



【対応】

- ・ バルク貨物(危険物を含む)を周辺に民家のない西地区に移転
- ・ 漁港地区にプレジャーボート対応の小型棧橋を整備

内貿埠頭
水深 -5.5m
埠頭用地 2.3ha
危険物取扱用地1.0ha

【その他の変更の概要】 大規模埋立計画の見直し(西地区・山王地区)



【課題・背景】

- ・ 重油需要の大幅な減少
- ・ 貨物輸送形態のユニットロード化
- ・ 海洋性レクリエーション需要の変化



【対応】

- ・ 西地区の大規模埋立計画を削除し、将来の開発空間として留保
- ・ 山王地区のマリーナ計画を削除

